

おほどもものうちつめ
大伴郎女の和ふる歌四首

五二五番

佐保川の 小石踏み渡り ぬばたまの 黒馬の来
夜は 年にもあらぬか

五二六番

千鳥鳴く 佐保の川瀬の さざれ波 やむ時もな
し 我が恋ふらくは

五二七番

来むと言ふも 来ぬ時あるを 来じと言ふを 来
むとは待たじ 来じと言ふものを

五二八番

千鳥鳴く 佐保の川門の 瀬を広み 打橋渡す
汝が来と思へば